

巻 頭 言



高知県知事 濱田 省司

世界に開かれた高知を目指して

コロナ禍において低迷していた世界経済は堅調に回復を続けており、国境を越えて経済的、社会的な結び付きがますます強まっていく中、本県においても、「グローバル化の推進」を施策の柱に位置づけ、関係各国との友好交流をはじめ、県産品の輸出拡大やインバウンド観光の振興、県内企業の海外市場展開、在住外国人との共生などの取り組みを進めているところです。

中でも、本県の「高知新港」を含む、アジア7カ国10港による「INAP＝友好提携港国際ネットワーク (International Network of Affiliated Ports)」は、参加港間で経済や文化のつながりを深めることなどを目的として設置されたネットワークで、本県が事務局となり、毎年、会員港の持ち回りで会議を開催しています。昨年10月には、第22回目となる会合を本県で開催し、各国の港湾関係者により「アフターコロナの展望」などについて活発な議論が行われました。

また、本県を代表する農産物であるユズは、輸出の拡大により、“YUZU”という言葉が各国に浸透するまでになってきております。また、土佐酒は、海外の品評会やコンペティションでの高い評価もあり、人気の日本酒として輸出が大きく拡大しております。

そのほか、「アンパンマン」の生みの親であるやなせたかし先生や、「フクちゃん」で知られる横山隆一先生など、著名な漫画家を数多く輩出する本県では、毎年8月に「まんが甲子園」を開催しています。昨年の大会では、海外の4つの国と地域から19校が参加し、そのうち決勝に進んだ韓国、シンガポールの学生と日本の高校ペン児が本県においてまんがを通じた交流を深めました。

加えて、本年度は、7月に開催される国の太平洋・島サミットにあわせ、太平洋島嶼国の16の国・地域と日本の16道県が加盟する太平洋島嶼国・日本地方自治体ネットワーク会議を開催いたします。平成30年のネットワーク設立以来、各自治体においては、それぞれの特色を活かしながら太平洋島嶼国との交流を継続しており、これまでの人的交流を軸として、さらに関係強化を図るための議論を行うこととしております。

引き続き、こうした海外との連携や様々な分野における交流などを通じて、各国の地域と互いに発展し合う関係づくりを目指すとともに、県民の皆さんと共に国際交流を進めていくことで、県勢の発展につなげてまいりたいと考えております。